

～人権はみんなが持つものを守るもの～

川西人権協だより

2025
9



編集・発行 川西市人権教育協議会 川西市中央町12-1(人権推進多文化共生課内) TEL(072)740-1150 FAX(072)740-1151

2025年度 第1回理事会

5月22日、市総合センターにて第1回理事会を開催しました。理事会では、常任理事会と事務局から事業報告、会計報告や活動の総括と方針などを提案し、承認されました。

6年ぶりに第72回兵庫県人権教育研究大会阪神地区大会が川西開催となることから、実りのある有意義な会にするために、理事の皆さまにご協力をお願いしました。

今後も全体活動をはじめ専門部活動、地域(校区)活動を進めてまいります。



2025年度 川西市人権教育協議会 常任理事

役職名	名前	所属	役職名	名前	所属
会長	西垣 通豊	学識経験者	就学前教育部長	立花 美貴	川西北こども園
副会長	岡坂 憲一	特・小学校長会	小学校教育部長	勝賀瀬 一	明峰小学校
	古谷 茂政	PTA 連合会	中学校教育部長	荒木 浩	川西中学校
常任理事	南 朋子	人権関係団体	高校教育部長	橋本 幸誠	川西緑台高等学校
	山本みどり	総合センター	進路保障部長	乾 隆人	清和台中学校
	藤川 成希	川西南公民館	特別支援教育部長	前田 達哉	川西養護学校
	山本 美貴	インクルーシブ推進課	行政部長	高橋 忠大	教育推進部
事務局長	渡邊 藍	PTA 連合会	校区人権啓発部長	安田 明美	明峰小学校校区
	田中 肇	人権推進多文化共生課	顧問	矢野 端	元 川西人権協会会長

新役員の皆さんからのメッセージ

『就学前教育部長になって』

就学前教育部長 立花 美貴(川西北こども園)

今年度就学前教育部長をさせていただきます、川西北こども園の立花美貴です。

子どもの権利について、子どもは守られるべき存在であると同時に権利の主体であること、子どもたちがもっている力をおとながどのように支えていくのかなど、部員の皆さんと共に考えていきたいと思ひます。また教育保育における人権について交流を深めることで、一人一人の人権意識の向上を図っていきたく思ひます。

どうぞよろしくお願ひいたします。

『小学校教育部長になって』

小学校教育部長 勝賀瀬 一(明峰小学校)

このたび、常任理事会の一員として川西市の人権教育に携わることとなりました。

人権はすべての人が尊重され、安心して生活できる社会の基盤であり、学校においても子ども一人ひとりが自分らしく成長するために欠かすことができない大切なものです。これまでの経験をいかしながら、皆様と共に学び合い、互いを理解し支え合える温かな社会づくりの担い手の育成に努めてまいります。

教職員、保護者、地域の皆様と共に小さな気づきや日常の実践を積み重ねることで、確かな人権感覚を育むことができると信じています。どうぞよろしくお願ひいたします。

『常任理事になって』

常任理事 山本 美貴(インクルーシブ推進課)

今年度、常任理事を務めさせていただきます、インクルーシブ推進課の山本美貴です。

以前は就学前教育現場で子どもたちに関わっており、すべての子どもが尊重され、安心して育つ環境を整えること、おとなの人権意識の向上が大切だと感じておりました。

”当たり前や普通”って何だろう?と、自分にとって身近な人権から疑問をもち深く考え、その視点を広げ、人権意識の向上を図っていきたく思ひます。どうぞよろしくお願ひいたします。

『行政部長になって』

行政部長 高橋 忠大(教育保育課)

今年度、行政部長をさせていただくことになりました。川西市教育委員会事務局教育推進部の高橋と申します。

行政部会では、市職員や教職員の人権問題に引き続き取り組んでまいります。これまでも人権の尊重や平等の推進に取り組んできましたが、まだまだ課題は残っております。

川西市では、だれもが幸せを感じるまちをめざして、「人権行政推進プラン(第4次改定版)」を策定しました。私は、このプランを軸に、教育保育や啓発活動の充実を図りながら、市民一人ひとりが「だれもが幸せを感じるまち」づくりの一端を担う社会をともに築いていけるよう尽力いたします。1年間どうぞよろしくお願ひいたします。

『高校教育部長になって』

高校教育部長 橋本 幸誠(川西緑台高等学校)

今年度、高校教育部長をさせていただきます川西緑台高等学校の橋本幸誠と申します。

県立高等学校では、社会等の変化に応じて、「学びたいことが学べる学校づくり」を基本理念として、人権に関し多様な価値観を認め、主体的に行動できる力を育む教育を推進しています。

ダイバーシティと呼ばれる多様性に満ちた社会で生きていくため、自分とは異なる価値観の積極的な理解に努めるとともに、異なる考え方や、異なる言語・文化・習慣等を有する集団の中で、主体的・協働的に行動し、新たな生き方や価値観を生み出せる教育環境を整えています。

多様な価値観や今日的な人権課題を積極的に理解しようとする力の育成にあたっては、「HUMAN RIGHTS -いま 私がひらく 未来-(令和2年度改訂版)」等を活用した人権教育を充実させるとともに、個々の教育活動と関連付けた人権感覚の涵養に努めています。

部落差別をはじめとしたあらゆる差別の解消をめざします。1年間どうぞよろしくお願ひいたします。



『常任理事になって』

常任理事 山本 みどり (総合センター)

総合センターの山本と申します。

昨年は、川西市人権教育協議会の事務局職員として関わらせていただきましたが、今年度は常任理事を務めさせていただきます。どうぞよろしくお願いいたします。

人権に関する課題は、同和問題をはじめとして、女性の人権、こどもの人権、障がいのある人の人権、外国人の人権、性的マイノリティの人権など様々あります。

あらゆる差別を解消するために、人権教育・人権啓発に取り組み、だれもが幸せを感じるまちをめざします。

また、本協議会の今年度の活動方針は、「『出会い』、『気づき』、『発見』をとおして、人権が自分のものとなり、すべての人の人権を大切にしていける確かな推進力を生み出すことができると考え、一人ひとりが人権尊重の推進力となっていけるよう取組を進めていきます。」です。

この活動方針に基づき、メンバーの一員として業務遂行に務めていきます



『校区人権啓発部長になって』

校区人権啓発部長 安田 明美

(明峰小学校校区人権啓発推進委員会)

今年度より校区人権啓発部長を務めさせていただきます安田と申します。

川西市人権教育協議会50年のあゆみを見ましたら、「小学校区人権啓発推進委員会」が発足されたのが今から38年前の1987(昭和62)年、そこには「『専門部活動』と両輪で進めていく。」と記されていました。

川西人権協の長い歴史の上で、校区人権啓発部は重要な位置づけであることを改めて感じ、身の引き締まるような思いです。

私は3年前に明峰小学校校区人権啓発推進委員会委員長を前委員長よりお引き受けして、さまざまな人権問題をより深く学ぶことができています。また、委員会活動をとおして地域委員の方々の出会い・ご縁が広がりました。人生の財産になっていると思っております。感謝申し上げます。

これからも川西市の人権尊重のまちづくり、差別のない住みよい地域社会を目指して、人権問題の理解と人権意識向上のための積極的な学習活動、啓発活動を推進していきたい所存です。どうぞよろしくお願いいたします。

2025年度 理事 一覧表

選出区分	名 前	所 属	選出区分	名 前	所 属
幼・保 ・こども園	立花 美貴 ※	市立川西北こども園	行政関係	小西 裕之	市長公室
	岡田 邦子	市立久代幼稚園		田家 隆信	総務部
学校園長	岡坂 憲一 ※	川西小学校		高橋 忠大 ※	教育推進部
学校教頭	各専門部長 ※	小・中・進・特		田中 肇 ※	市長公室
高等学校	橋本 幸誠 ※	県立川西緑台高等学校	小学校区 人権啓発推 進委員会	田中 尚美	久代小校区推進委員会
PTA 連合会	古谷 茂政 ※	PTA 連合会		三浦 幸子	加茂小校区推進委員会
	渡邊 藍 ※	PTA 連合会		秋田 修一	川西小校区推進委員会
社会教育 等団体	河北 雅仁	人権啓発サポーター会		中田 鞆子	桜が丘小校区推進委員会
	永田 又嗣	スポーツ推進委員会		後藤 善史	川西北小校区推進委員会
	秋山 洋暁	子ども会連絡協議会		安田 明美 ※	明峰小校区推進委員会
	平田 哲雄	文化協会		福島 美香子	多田小校区推進委員会
	篠木 玲子	障害者団体連合会		富田 昌宏	多田東小校区推進委員会
	川野 麻衣子	社会教育委員の会		矢野 端	緑台小校区推進委員会
	尾野上 一夫	民生委員・児童委員協連		鈴木 夕佳	陽明小校区推進委員会
	花咲 揚子	民生委員・児童委員協連		松隈 紀文	清和台・清和台南小校区推進委員会
	菅原 和代	老人クラブ連合会		磯部 裕子	けやき坂小校区推進委員会
	五十嵐 富佐子	ジェンダー平等推進市民企画員会		釜本 邦博	東谷小校区推進委員会
企業関係	加茂 千穂子	部落解放同盟川西支部		西村 美栄	牧の台小校区推進委員会
	角 清子	部落解放同盟川西支部		黒田 みち	北陵小校区推進委員会

※印 = 常任理事兼務



1年間 よろしく願いいたします。

夏の学び①

第72回阪神地区人権・同和教育研究大会

『7年に一度の川西での開催』

会長 西垣 通豊

8月2日(土)第72回兵庫県人権教育研究大会阪神地区大会(阪同教大会)が川西で開催されました。川西北小学校で15の分散会、キセラ川西で2つの分散会が行われ、阪神7市1町から980人以上の皆さんが参加し、各分散会に分かれ、それぞれの報告をもとに熱心な討議が行われました。

大会当日、一般参加者の受付は9時からでしたが、9時前から多くの方々が来られ、川西北小学校会場ではピーク時に少し混雑する時もありましたが、参加者は事前申し込みの方のみで、今大会から受付場所を各分散会の教室の入り口にしたため大きな混乱もなく、開始の9時30分を迎えることができました。

川西からの報告は、「多田東小学校」「緑台中学校」「多田小校区人権啓発推進委員会」からの3本でしたが他にも、司会、記録、会場責任など多くの方々から分散会を支えていただきました。この場をお借りしてお礼申し上げます。ありがとうございました。

また、毎年この大会は暑い中での実施となりますが、今年は例年以上に猛烈な暑さが続く中での準備となり、協力員のみなさんは特に大変だったと思います。炎天下で駐車場のライン引きや車の誘導をしていただいた方々、会場係でパイプ椅子や長机を体育館から各会場へ運んでくださった方々、40度を超える(29日全体打ち合せ会の次の日、兵庫県の柏原で観測史上最高の41.2度を記録)中での作業ではなかったかと思えます。

その他、分散会場内の機器の設定や確認、会場の案内などいろんな所で、対応していただきスムーズに進めることができました。参加した皆さんからも「いい大会でしたね!」「暑い中での準備ありがとうございました。」など、たくさんの声をいただきました。

最後になりましたが、いろいろな行事がある中、会場を提供してくださった川西北小学校の校長先生や教頭先生、トイレや校舎内の事前の清掃をしてくださった職員の皆さん。また、今年度当初から、開催のために協議を重ねていただいた川西人権協の常任理事の皆さん。さらに、事務局として全員総出で、計画・準備・調整・運営など検討を重ね、中心に動いていただいた人権推進多文化共生課の皆さん、大会開催にかかわっていただいた全ての皆さんに感謝したいと思います。

ありがとうございました。

川西北小学校会場の様子



キセラ川西プラザ会場の様子

川西市からの報告

- ◆小学校教育部会 多田東小学校 鍵本 溪斗さん・東端 真弓さん
「異学年集団活動を通じた「つながり」を育む」
～子どもたちが主体的に活動する異学年集団「ファミリー」～
- ◆中学校教育部会 緑台中学校 三喜 園子さん
「校内サポートルームの現状と今後の展望について」
～生徒一人一人に寄り添った居場所づくりのために～
- ◆校区人権啓発部会 多田小学校人権啓発推進委員会 福島 美香子さん・福島 香澄巳さん
「生きづらさを感じている子どもたちの声」～子どもが子どもらしく居られる地域づくりとは～



《参加者の感想より》

- 就学前A: 人権って子どもたちに伝えるのも保育教諭として学ぶのも、人権という範囲が広く難しいと思っていました。ですが、他市の園での人権の取り組み、自園にも活かしたいと思える内容ばかりでとてもタメになりました!
- 就学前B: ごっこ遊びの実践発表がとても楽しそうで興味深かったです。本物に触れること、イメージの共有、半歩先の環境等、大切にしたい事のキーワードを学べたので自分自身の実践にも落とし込んでいきたいと思いました。
子どものありのままの姿を認め合える仲間づくりでは、保育士が肯定的に捉えて関わっていくことがこども同士の仲間づくりにも繋がっていく事。人権保育は価値観をつくる保育であると言う話を聞き、今自分が関わって保育している事がこどもの価値観に繋がっていくと思うと改めて責任の重い仕事であり自分自身の人権感覚も磨いていく必要があると思いました。
- 学校教育A: 実践報告やグループで話をすることで、たくさんのお話を共有することができ、良かったです。
- 学校教育A: 幼稚園、小学校の報告で共通のテーマでの取り組みを聞くことができ、それぞれの違い、また共通点を知ることができました。幼児期からの人権教育保育の大切さを共有する場となってとても良かったです。
- 学校教育E: 私立と公立の高校の両方の話が聞いて良かったです。
- 男女共生と人権: 自分らしく生きる・多様性を尊重する集団づくりなど少数に寄り添える教師や環境があるようになってきたのは良い。「わざわざ説明するから特別なことになる」誰もが説明されずとも感じられるようになると良いのと思う。宝塚の指導案は他の市の小学校の先生がうらやましがっておられました。
- 地域社会と自主活動A: ヤングケアラーに対して地域の方とどのように連携すればいいのかを考える機会になりました。ありがとうございました。
- 地域社会と自主活動B: 芦屋市の発表が簡潔でわかりやすかった。もう少し具体的に話してもらえると深まると思った。宝塚市の補導委員会の報告は有意義な内容だった。川西市の補導委員会活動がなくなったのは残念。
- 地域社会と自主活動B: 宝塚市の青少年補導委員の活動は月4回の補導活動の他にも講師を招聘して研修を行うなど熱心に取り組まれている。川西市との対比では少し考えさせられた。芦屋市の定住外国人についての取り組みでは「やさしい日本語」や教える側おしえられる側という関係を固定させない日本語教室のあり方などが報告された。おもにニューカマーについての報告だったのでオールドカマーへの取り組みや問題についても聞きたかった。
- 子どもの人権: いろいろな所属の方のお話を聞く機会になり勉強になりました。ありがとうございました。

報告者、役員の皆様、協力者の皆様おつかれさまでした。運営にあたりご協力いただいた皆さまありがとうございました。猛暑の中でしたが、阪神各地から多くの方に参加していただき、無事に開催できました。参加された方々にとって少しでも学びの機会になっていたのであれば幸いです。事務局としては役目を果たせたかとホッとしています。 (事務局)



夏の学び②

2025年度 合同研修会

『部落差別の現状と課題』

～今後の展望と人権教育のあり方～



8月25日(月)、川西市総合センターで合同研修会を開催しました。講師には関西大学社会学部教授 内田龍史さんうちだりゅうしをお招きし、ご講演いただきました。

部落問題を学ぶというより部落問題で差別について学ぶ。すべての人が自分の「ふるさと」を語れる社会にすることが目指す姿である。そのためにマジョリティー(多数派)の1人ひとりが、人との出会い、学び、体験などを通して相手のことを知ることが大事なのだと教えていただきました。教育や地域の人権啓発に関わる私たちにとって、学ぶことの大切さが再確認ができるお話でした。

内田さん、ありがとうございました。

【参加者の感想より】

- ◆差別のおこる原因や仕組みがよくわかった。学校教育でしっかりと教えていく必要性を理解した。学び、知ることで次の差別を止めることができるというのはすごく納得ができ、私も学校で共有して推進していきたいと思う。とてもいいお話が聞けてよかった。
- ◆差別の構造を知りました。マジョリティーの立場では、意識しないと見過してしまうということが心に残った。まず、子どもたちが安心できるクラスをつくりたいと思う。
- ◆正しい学習をして教育に関わる仕事についているため、差別について人権について学び続けることの大切さを実感した。人権について、子どもたちにしっかり伝えていけたらと思う。
- ◆マイノリティ・マジョリティということから「悪意のない差別」について学ぶことができた。何気なく感じていたこと、発していた言葉も差別だったんだと反省した。
- ◆差別はなぜ起こるのか、というそもそものメカニズムから教えていただき、よく理解することができた。差別につながらないように、不安を解消するために「出会い」「学び」「経験する」を大切にしていきたい。また教える立場の人間として、子どもたちにも丁寧に伝えていきたいと思う。
- ◆時代によってマジョリティとマイノリティが変わることを教えていただきためになった。キムチとイナゴの話聞いて、日本も海外からの文化が入って変化してきていること、地域によって当たり前が違うことなどがよくわかった。
- ◆部落差別という言葉から、特別なものという印象を受けてしまいましたが、差別について具体的に考えることができた。差別が差別と認識されることが大切だということが考えさせられた。・・・「あえて出会うこと」私もしていきたいと思う。差別をなくすために 出会い・学び・経験していきたい。誰もが「ふるさとを語れる社会に」強く願います。
- ◆部落差別についてのお話された中で、「であい」の重要性が特に心に残っています。学んだり出会ったりしていると、偏見をうのみにせず、「それはおかしい」と跳ね返す力になる。やはり正しく伝え、知り、学んでいくことが大切だと改めて思いました。



【memo】「合同研修会」とは：川西人権協の構成組織の7専門部と校区人権啓発部の「合同、で行う研修会という意味です。

研究大会の案内

●第76回全国人権・同和教育研究大会（分科会のみ実施）

◆日時 11月29日（土）～11月30日（日）

◆場所 関西学院大学（西宮上ヶ原キャンパス）・エル・おおさか
近畿大学（東大阪キャンパス）・大阪公立大学（杉本キャンパス）

参加希望のかたは、各小学校区人権啓発推進委員会委員長さん、または川西市人権教育協議会事務局までご連絡ください。詳細は、全国人権教育協議会のホームページをご覧ください。

●第38回川西市人権教育研究大会

◆日時 2026（令和8）年2月6日（金） ◆場所 アステ市民プラザ

開催時刻や内容などにつきましては、後日お知らせします。

川西市の人権啓発行事

●川西市人権週間映画会（無料）

◆日時 2025（令和7）年12月6日（土） ◆場所 みつなかホール

*詳細は後日、川西市のHPに掲載します。

募集

「じんけん写真コンテスト in かわにし」に
参加してみませんか

今年のテーマ 「多文化共生」

写真の作品を募集しています。あなたの身近な景色や暮らしの中で、心温まる姿や風景など「人権」にまつわる写真を写してみませんか。

応募方法など詳しくは、市のホームページをご覧ください。★ホームページはこちらの2次元コードから



■2024年度の最優秀作品
「二世紀分の生命」

■2023年度の最優秀作品 「いつまでも 手を取りあって」

※最終締め切り
2025年10月10日（金）

お知らせ



2025年度 現地人権学習会について（予定）

- 12月16日（火） 奈良方面 水平社博物館・フィールドワーク
- 12月19日（金） 神戸方面 人と未来防災センター
神戸在日コリアン くらしとことばのミュージアム

川西市役所から大型貸切バスで行きます。各コース、それぞれ35名の参加者を募ります。
詳細につきましては、各小学校区人権啓発推進委員会委員長さんにお知らせします。
参加希望の方は、各小学校区委員長さん、または川西市人権教育協議会事務局までお申し込みください。

★「神戸在日コリアン くらしとことばのミュージアム」

100年以上前から在日コリアンが多く暮らしてきた神戸市長田区に、映像や生活資料でその歩みを伝えるミュージアムが2024年12月、オープンしました。多様なルーツを持つ人々が暮らす長田で、相互理解を深める学びの場として期待されています。

人権学習・研修に人権啓発 DVD の活用を！

第1回川西人権協・理事会で鑑賞していただいた DVD は、兵庫県人権啓発ビデオ「あなたのいる庭」でした。この作品は、「社会における子どもの人権～子どもが安心して暮らせる社会の実現をめざして～」をテーマとしています。

この啓発ビデオは約30分で作成されており、部落問題・多文化共生・ヤングケアラー・障がいがある人の人権・性の多様性など様々な課題について考えるきっかけとなる作品となっています。

他にも川西市には、人権や平和に関するアニメ作品や長編映画など約140作品あり、貸し出しは無料です。

詳細は川西市のホームページをご覧ください。電話でも予約することができます。

毎年、各小学校区や職場、学校などの多くの方が利用されています。企業や社会教育団体の方も利用できます。

人権推進多文化共生課や総合センターで貸し出しを行っていますので、各地域や職場、団体などの人権研修会等で、ご活用ください。

☎TEL 072-740-1150 人権推進多文化共生課
☎TEL 072-758-8398 総合センター



【編集後記】

8月2日の阪神同教研究大会は、川西市での6年ぶりの開催でした。前回はコロナ禍前の2019年7月、お弁当を食べて1日開催で行っていました。事前の申込はなく1,700人規模で行い、廊下の窓はあけて立ったまま参加された方も多かったようです。

この6年で世の中は様々なことが大きく変わりました。

まさか3か月も学校閉鎖になるなんて、まさか世界規模の病気が流行するなんて、税金で国民がワクチンを順に打つなんて、そして夏がこんなに暑くなるなんて…

学校では生徒にタブレットが配布され、おとなはリモートで仕事、人と人とのつながりがネット上で強くなり、顔の見えない関係の中で暮らしています。

そんな今こそ、人と人とのつながりを大事にしたい。ひとりひとりに居場所があり、必要とされ、安心して生きていける世の中にしないとイケないと感じます。

私たち川西市人権教育協議会の活動は、自分が学び、お互いを理解し人と人とのつながりを大事にしようとする活動です。今の時代にとってもふさわしい、素敵な活動をしているなあと感じています。一人でも多くの人につながりますように。(事務局)

